

♪ ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

4月後半に宇久井半島で見られるなかまたち！



「ウグイス ウグイス科」

留鳥。全長14-16cm。ホーが吸う息、ホケキョが吐く息。林の中に隠れて、姿をあまり見せない。



「メジロ メジロ科」

留鳥。全長12cm。鮮やかな黄緑色の体と、目の周りの白いアイリングが特徴。つがい生活する。



「キムネクマバチ ミツバチ科」

体長23mm。通称クマバチ。体が大きく羽音も迫力があるがおとなしい蜂。雄は縄張りを守る為ホバリングする。



☆「トベラ トベラ科」☆

海岸沿いに多い常緑低木。花の大きさは約1.5cm。良い匂いがし、蝶などが好んでやってくる。



☆「ウバメガシ フナ科」☆

暖地の海岸近くに生える常緑低木。備長炭の原料になる。長さ2cmほどの雄花が垂れ下がっている。



☆「コバノタツナミ シソ科」☆

海岸に近い林縁や石垣などに生える多年草。花の大きさは約5mm。葉と茎に短毛が密生するのが特徴。



☆「ハルジオン キク科」☆

大正時代に北アメリカから渡来した帰化植物。花の大きさは約2cm。蕾が下を向いているのが特徴。



☆「オニタビラコ キク科」☆

花の大きさは約8mm。細い茎を何本も立ち上げ小さい花を沢山つける。葉は地表面だけにつける。



☆「ニガナ キク科」☆

日当たりの良い草地に生える多年草。花の大きさは約1.5cm。葉や茎を切ると苦みのある白汁を出す。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

宇久井半島では、鳥たちが賑やかにさえずり、いろいろな草花が芽吹き春を告げています。皆さまのお越しをお待ちしております(^o^)/

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2026年4月後半号

宇久井ビジターセンター



